石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

30th 1989-2019 ISHINOMAKI SENSHU University

経営学部国内留学

新鮮、充実の日々

初の女子学生3人

笑顔で生田キャンパスでの学生生活を語る齋藤さん、高橋さん、結城さん（左から）

経営学部の3年次生が特別聴講生として専修大学経営学部で学ぶ国内留学。2019年度は初の女子学生3人を含む7人が神奈川県川崎市の生田キャンパスで、講義やゼミナール、サークル活動に取り組んでいる（留学期間は8月末まで）。女子学生3人に抱負やここまでの留学生活を聞いた。

「多くの人と出会い、広い視野から知識を身につけたかった」と参加の動機を話す齋藤ひかりさん（宮城県石巻市立桜坂高）。人事労務管理がテーマの廣石忠司ゼミに所属。「新しい環境に慣れるのは大変だが、ビジネス・マーケティングなど、興味ある科目を楽しみながら学んでいる。期間中にいろいろな場所に行って多くのことを体験したい」と意欲を語る。

結城湖々さん（宮城県古川黎明高）は、倉持俊弥ゼミで国際経済問題を学ぶ。「授業はグループワークが多く、意見を求められるため、考えを持って参加するように心がけている」と言う。授業以外では図書館や就職課で情報収集を行うなど、施設を積極的に活用。

「生田キャンパスでの生活を楽しみたい。実家を離れての生活は初めてだが、国内留学のメンバーで助け合って、楽しく過ごせている」と振り返った。

金成洙ゼミでマーケティングを学ぶ高橋彩夏さん（岩手県水沢高）は、「ゼミに活気があり、みんなのやる気に刺激を受けている」と話す。小学校の頃からバドミントンを続けており、専修大学バドミントン愛好会に入会した。「大会にも出場し、良い結果を残したい」と語り、「学食はメニューも豊富でおいしい。入居している研修館も設備が整っていて快適」と生田キャンパスでの生活を満喫している。

【ほかの参加学生】
※カッコ内は出身高校
▽木村真陸さん（山形県山形工業高）
▽森谷大輝さん（山形県村山産業高）
▽佐々木颯（はやて）さん（茨城県第一学院高萩校）
▽荒谷朋匡さん（宮城県泉松陵高）

免許取得へ 特別講座

保育士・教員養成センター

保育士や教員の免許取得を目指す全学部の学生を対象に、保育士・教員養成センター（笹原英史センター長）では、教員採用試験対策講座を開講している。学年ごとに特別プログラムを実施し、採用試験合格に向け、学生を手厚く支援する。

特別プログラムでは、2年次までに教育法規、教育原理、教育心理、教育史といった「教職教養」を学習する。3年次は教育実習を見据えた専門知識の習得、音楽や体育などの実技レベルの向上に取り組む。4年次は過去問を中心に試験対策を行い、一次試験終了後は、論文、面接、模擬授業に重点を置き二次試験に備える。

2013年のセンター開設以来、多くの学生が講座を受講。確かな指導プランで確実に成長し、卒業後はさまざまな教育機関で活躍している。

赤間翔吾さん（人間3・宮城県仙台育英学園高）は「2年次後期から本格的に受講しているが、先生の説明が詳しく、これまで学んだことを効率良く復習することができている」と語った。

小・中学校の校長を務めた経験を生かし、指導に力を注ぐ有見正敏特任教授は「講座だけでなく、授業の空き時間や長期休暇中に行う宿泊研修などでも試験対策を行っている。得意、不得意は一人ひとり異なるため、早い時期から自覚させて取り組むように指導している。これからも教育現場で活躍する卒業生を輩出できるよう、学生をサポートしていく」と話した。

有見特任教授の講義を聞く履修生

中国、ベトナムの学生と文化交流

国際体験研修

石巻専修大学では、日本人学生と留学生が協力してグループワークに取り組み、相互理解を深める全学共通の「国際体験研修（異文化体験型）」を開講している。全学部の学生が履修できる講義で、今年度は日本、中国、ベトナムの学生が参加。互いの文化を学ぶとともにキャンパス内での国際交流を図っている。

4月26日に行われた第3回講義では、自己紹介をテーマにプレゼンテーションを実施。履修生たちは事前に作成したスライドを用いて、自分の趣味や出身地の特徴などを紹介した＝写真。今後は各地の生き物、文学とサブカルチャー、身近な出来事に関する統計など、幅広い分野を取り上げ、国や地域による違いを探る。

佐藤大琉（たける）さん（人間1・宮城県岩ケ崎高）は「新入生オリエンテーションで留学生と話したことをきっかけに、もっと交流したいと考えた。講義を通して文化の違いを理解し、グローバルな視野を身につけたい」と話した。

今野友貴さん（人間1・茨城県第一学院高萩校）は「面白い講義だと思い受講した。グループワークなどでコミュニケーション能力を高めたい」と語った。

中国から留学した張啓媛（けいえん）さん（経営1）は「卒業後は日本で通訳として活躍したいと考えている。コミュニケーション能力と日本語能力を高めたい」と受講に意欲的。

ベトナムから来日したライ・テイ・フエさん（経営1）は「先生方がとても熱心で、楽しく受講している。経営学などの専門知識を学ぶだけでなく、こういった授業や学生生活を通して日本のことを理解したい」と言う。

6勝4敗3位

南東北大学野球 春季リーグ戦

南東北大学野球春季リーグ戦が5月12日に終了し、硬式野球部は6勝4敗の3位となった。

開幕戦（4月13日、対日本大学工学部）はエースの菅野一樹さん（経営4・宮城県聖和学園高）が完封し、3―0で勝利。勢いに乗り、4連勝したが東北公益文科大に連敗したことが響いた。

しかし、開幕からルーキー2人がレギュラーの座をつかむなど、今後に期待を抱かせる。捕手として投手陣を支えた角田麗斗さん（経営1・岩手県専大北上高）は「貴重な経験を積むことができた。この経験を秋季リーグ戦に生かし、優勝を目指す」と手応えを語った。

三塁手の作山瑞季さん（経営1・青森県八戸学院光星高）は福島大戦（4月20日）で本塁打、山形大戦（5月5日）で三塁打を放つなど活躍。「試合に出場することができたのは、先輩に支えられたおかげ。信頼される選手を目指し、チームを引っ張っていくという気持ちを持って今後の練習に取り組む」と話した。

打撃で貢献した作山さん＝5月5日

安部建人主将（経営4・新潟県北越高）は「応援に応えられず、悔しい。自分は今季で引退するが、後輩たちには秋季優勝、明治神宮野球大会出場を果たしてほしい」と夢を託した。

佐々木さん2位

東北学生弓道

第58回東北学生弓道大会が4月13、20の2日間、宮城県第二総合運動場近的場（仙台市）で行われ、男子個人で佐々木颯（はやて）さん（経営4・宮城県岩出山高）が準優勝、女子個人で坂本麻衣さん（経営4・秋田県角館高）が3位に入賞した。

佐々木さんは優勝決定を決める射詰決中（八寸的）に勝ち残ったが、惜しくも優勝を逃した。

佐々木さんは「結果を残すことができてうれしい。今後は、団体戦で上位に進出できるようにチームを引っ張っていきたい」と話した。

育友会支部懇談会

保護者の会である育友会では、学生生活の様子や学業・進路についての質問に答える支部懇談会を全国で開催する。今年度の日程、会場は下表の通り。

問事務課育友会係　☎0225・22・7742
E-mail：ikuyu@isenshu-u.ac.jp

開催地	開催日	会場
石巻	5月26日（日） 10月12日（土）	石巻専修大学 ＊5月は定期総会と同時開催
秋田	6月 2日（日）	秋田ビューホテル
東京（神田）	6月 2日（日）	専修大学神田キャンパス
福島	6月 9日（日）	ザ・セレクトン福島
青森	6月16日（日）	ホテルJALシティ青森
山形	6月16日（日）	山形国際ホテル
岩手（北上）	6月16日（日）	ホテルシティプラザ北上
宮城（仙台）	6月30日（日）	TKPガーデンシティ仙台
九州（熊本）	7月14日（日）	専修大学玉名高校